

No	キャラ名	台詞
		以降耳舐めエリア
2-001	彩蝶	ぺろっ……
2-002	雛菊	んっ……んううう……はあはあはあ……
2-003	彩蝶	はあむ……んあ……んうう……はあ……ん……
2-004	雛菊	あっ……あっ……んああああああ……
2-005	彩蝶	耳を舐められただけで可愛い声を出して、 そんなことではこれから先耐えられないわよ。 あう……はああ……んう……あむ……
2-006	雛菊	あっ……あっあっあっ……くすぐったい……ん…… はあはあ……んああ……
2-007	彩蝶	くすぐったい？ 違うでしょう。 言葉を間違えているわ。 気持ちいいのでしょうか？
2-008	彩蝶	その証拠に耳たぶに舌を這わせる度、 体をビクンビクンと震わせているじゃない。 ほ～ら、こんな風に……あむう……
2-009	雛菊	ひやあああ……！
2-010	彩蝶	良い声だわ。 それにしても今日はいつになく敏感ね。 やはり見られていると思うと興奮するのかしら？
2-011	彩蝶	まったくどこまでふしだらな子なのかしら、 昔はあんなに可愛らしかったのに、 いつからこんな風になってしまったのかしら。
2-012	雛菊	んああ……はああ……はああ……くうん……はああ…… あっ……はあ……んっ……あっあああ……

- 2-013 彩蝶 あらあら、返事も出来ないほど感じてしまっているのね。  
そんなにいいのならもっとしてあげないといけないわね。  
さあ、存分に身悶えなさい、そして痴態を見て頂きなさい。
- 2-014 雛菊 くうん……はぁぁ……あん……ぁぁぁぁ……はぁぁ……  
ん……あっあっあっ……んうう……
- 2-015 彩蝶 はむう……ちゅば……んはぁぁ……あむう……
- 2-016 雛菊 ね、姉さん……ふぁぁぁぁぁ……
- 2-017 彩蝶 雛菊は、耳のくぼみを舌先でネットリと舐められるのが  
好きなのよね。舐めて貰いたい？
- 2-018 雛菊 うん……舐めて……姉さん……はぁはぁ……んううう……  
んうう……お願い……はぁぁ……
- 2-019 彩蝶 どうしようかしら。  
そんな風におねだりされると  
意地悪したくなってしまうのよね。
- 2-020 雛菊 そんな……意地悪しないで……ううん……意地悪して……  
はぁ……はぁ……んううう……はぁはぁ……くうん……
- 2-021 彩蝶 意地悪して欲しいだなんて、本当に変態ね。  
まあ、雛菊が淫乱のド変態なのは  
今に始まったことではないわね。
- 2-022 彩蝶 私がお願いすれば、身の毛もよだつほど大嫌いな  
男にだって喜んで股を開けるんですものね。
- 2-023 雛菊 そんな……んうう……はぁ……はぁ……
- 2-024 彩蝶 今だってほら、罵られながら蕩けそうな顔をして、  
我が妹ながら呆れてしまうわ。  
血を分けた姉妹が淫乱だなんて目眩しかしいわ。
- 2-025 雛菊 姉さん……嫌いにならないで……

- 2-026 彩蝶 まあ、そんな心配をしていたの？  
私が雛菊を嫌いになるわけがないわ。
- 2-027 雛菊 本当？
- 2-028 彩蝶 あら、私を嘘つき呼ばわりするつもりなのかしら？
- 2-029 雛菊 ち、違う……そうじゃない……
- 2-030 彩蝶 すぐに私の言葉を鵜呑みにして  
本当、雛菊はからかい甲斐があるわね。
- 2-031 彩蝶 もちろん本当よ。  
雛菊を嫌いになることなど誓ってないわ。
- 2-032 彩蝶 例え雛菊が何人もの男と体を重ねてきた淫乱だとしても、  
例えばそうね……もし、人間を喰らう鬼だったとしても  
私は嫌いになったりしない。
- 2-033 彩蝶 だってそうでしょう。  
雛菊は私の可愛い妹で、  
この世にいる唯一の家族なんですもの。
- 2-034 彩蝶 うふふ……気が変わったわ。  
やっぱり耳を舌先で舐めてあげる。
- 2-035 雛菊 姉さん……嬉しい……あっ……ふあああ……んっ……  
そこ……気持ちいい……はああ……んああ……あっ……  
ふああ……んう……
- 2-036 彩蝶 あむう……はああ……んうああ……はああ……ちゅぱ……  
はあうう……
- 2-037 雛菊 んああ……はああ……姉さんの舌が……くうん……あっ……  
ひやああああ……！！
- 2-038 彩蝶 耳たぶを舐めた程度で感じてしまうなんて、  
なんて敏感なのかしら。  
本当、全身性感帯なんだから。

- 2-039 彩蝶 こんなに淫らな体を持っているくせに  
男嫌いだなんてもったいないわ。
- 2-040 彩蝶 イチモツを奥までねじ込まれいつもあんなに嬉しそうに  
よがるんですもの。本当は殿方が好きなのでしょう？
- 2-041 雛菊 そんなこと……んうう……ない……はあああ……  
男なんて嫌い……私が愛しているのは……はあ……  
姉さん……だけ……
- 2-042 雛菊 男と寝るのは……姉さんが喜ぶから……んうう……  
それだけの理由……くうん……はああ……
- 2-043 彩蝶 ええ、雛菊が男共に汚される姿は何度見ても興奮してしまうわ。  
相手が醜悪なら醜悪なほど堪らない。
- 2-044 彩蝶 ああ、私の大切な雛菊が犯され汚され、  
男共の欲望の捌け口にされていく様は、  
それだけで達してしまいそうになるわ。
- 2-045 彩蝶 いつもいつも私のために穴という穴から精液を滴らせてくれて  
ありがとう。大好きよ、雛菊。
- 2-046 雛菊 私も大好き……姉さんが望むから男に抱かれるの……  
そうじゃなかったら……そんな気持ちの悪いこと……  
絶対にしない……
- 2-047 雛菊 絶対……絶対にしない……男に体を許しても……  
私が心を許すのは……姉さんだけ……んああ……！  
はああ……んうう……くうん……はああ……
- 2-048 彩蝶 うふふ、どこまで可愛らしいのかしら。  
大好きな姉の舌の動きをもっと堪能なさい。  
あむう……はああ……んうう……はあむ……
- 2-049 雛菊 姉様……はあああ……んああ……あっあっあっ……くうん……  
ひゃあああ……あっ……そこ……そこ……

- 2-050 彩蝶 良い声ね。もっとしてあげるから、  
可愛い声を沢山聞かせてちょうだい。  
はあむ……んうっ……ちゅぱ……
- 2-051 雛菊 はい……沢山……聞いて……んうう……あっあっ……あっ……  
ふああ……んうう……気持ちいい……あああっ……！
- 2-052 彩蝶 はあう……んああ……あむう……はああ……んああ……あ……  
ふあああ……あむ……
- 2-053 雛菊 あっあっ……んああ……はああ……ああああっ……！！
- 2-054 彩蝶 その声……堪らないわ……はあむ……んうう……ちゅぱ……  
んああ……はああ……んう……はあむう……
- 2-055 雛菊 姉さん……抱きしめて……ぎゅって……強く抱きしめて……
- 2-056 彩蝶 まあまあ、本当に子供のようね。  
いいわ。ほら、いらっしやい。
- 2-057 雛菊 姉さん……
- 2-058 彩蝶 よしよし、これでいいかしら？
- 2-059 雛菊 姉さんの匂い……ああ、姉さんの小さな体……スベスベの肌……  
嬉しい……
- 2-060 彩蝶 小さくて悪かったわね。
- 2-061 雛菊 悪くない……とても良い、姉さんは姉さんのママがいい。
- 2-062 彩蝶 そう言いながら、無駄に大きな乳房を押しつけないでほしいものね。  
もしかして煽られているのかしら？
- 2-063 雛菊 そんなことない……私は姉さんの全てが愛おしい……
- 2-064 彩蝶 先ほども言ったけど、それなら本当に体を  
交換してもらいたいものだわ。

- 2-065 彩蝶 そうすれば、この淫らな体を持て余すことなく  
存分に使い切ってみせるのに。
- 2-066 彩蝶 この豊かに実った乳房があれば、  
このくびれた美しい腰があれば、  
この大きな尻があれば、どれだけの男を魅了できることか。
- 2-067 彩蝶 ああ、口惜しい。  
口惜しいから、その体を堪能させてもらいましょう。
- 2-068 彩蝶 まだ満足していないようだし、もっと耳を舐めてあげる。  
だから、余すことなく私の前では全てをさらけ出さない。
- 2-069 雛菊 はい……んうう……あっ……ふはああ……んあああ……あっあっ……  
くあ……んああ……はああ……あっ……あっ……
- 2-070 彩蝶 はあむ……んあ……んう……はああ……んう……ちゅぱ……  
あう……はああ……んく……
- 2-071 雛菊 はあはあはあ……んああ……ふあああ……ん……ゾクゾクしちゃう……  
んうう……ね……姉さん……んああ……あっあっ……！
- 2-072 彩蝶 ゾクゾクするのはお互い様よ……あむう……その声を聞く度、  
奥から熱い蜜が溢れてきてしまうわ……はあむ……んあ……  
んはああ……んっ……はああ……
- 2-073 雛菊 はあはあ……んあああ……ね、姉さん……姉さん……はあああ……  
くうん……ふあああ……ダメえ……あああ……
- 2-074 彩蝶 ダメではないでしょう。もっとして欲しいのでしょうか？
- 2-075 雛菊 うん……はあはあ……もっと……してえ……くうん……はああ……  
あっあっあっ……姉……さん……ひやああ……！
- 2-076 彩蝶 そう……それでいいのよ……はあむ……はああ……れろっ……  
ちゅぱちゅぱ……
- 2-077 雛菊 はああ……んう……くうん……ふああああ……！  
※以降、耳たぶ甘噛みしながら

- 2-078 彩蝶 それにしても……はぁ……いつも思うことだけど……んぁぁ……  
雛菊の耳たぶは……柔らかくて美味しそうね……  
食べちゃいましょうか……カプッ……
- 2-079 彩蝶 はむうはむう……んぁぁ……あむう……んぁぁ……はぁはぁ……  
んうう……いい歯ごたえだわ……はぁむう……んぁぁ……
- 2-080 雛菊 あっ……姉さんの歯が……あっ……んぁぁぁ……噛んじゃ……  
ダメえ……ダメじゃないけど……ダメええ……ふぁぁ……  
んぁぁぁぁ……くうん……ひゃぁぁぁ……！！
- 2-081 彩蝶 ふふっ……相変わらず耳を噛まれると色っぽくなるわね……あむう……  
盛りのついた雌犬そのものじゃない……はぁむ……くうん……
- 2-082 雛菊 だって……姉さんが……ふぁぁ……ふうん……はぁぁ……くぁぁ……  
んううう……はぁぁぁ……！
- 2-083 彩蝶 姉さんがじゃないわよ……はぁむ……自分の淫乱さを棚に上げ……  
人のせいにするのは良くないわね……あむう……！
- 2-084 雛菊 ご……ごめん……なさい……んぁぁぁ……はぁぁぁ……
- 2-085 彩蝶 いいえ、許さないわ。  
だらしのない雌犬はシッカリと舐けておかないと。
- 2-086 雛菊 そ、そんな……ね、姉さん……ふぁぁぁぁぁ……！
- 2-087 彩蝶 姉さんじゃないでしょう……はぁむ……んうう……んぁぁぁぁ……  
あむう……んう……はぁぁ……
- 2-088 雛菊 そんなに……噛まれたらぁ……ふぁぁぁ……おかしくなっちゃう……  
はぁぁぁ……ん……あぁぁぁぁぁあっ……！
- 2-089 彩蝶 おかしくなりなさい……アナタは元々おかしいんだから……ん……  
それが自然でしょう……あむ……はぁぁぁ……
- 2-090 雛菊 くうん……ふぁぁぁ……漏れちゃう……あぁぁぁあっ……  
はぁぁ……んう……くうん……あっ……！

2-091

彩蝶

ああ……本当にどこまで可愛いのかしら……